

OHDSI Japan evening conference #5

イブニング カンファレンス(第5回)
2020.4.30



コロナ長期化を想定した活動について

- 当面は、オンラインをメインの活動にする。
 - Web meeting開催（本日のこれ）
 - OHDSI Forum ←もっと使おう
 - 日本コーナー <https://forums.ohdsi.org/c/ohdsi-in-japan>
 - Slack or 代替物
 - メールングリスト

- APAC シンポジウム／共同研究
 - シンポジウムの方は現状進展なし。
 - 共同研究はcovid-19 issueのため滞っているが、何かは行うであろう。

- マッピング等
 - 進展なし。



レセプトの診療点数の取り扱いについて

日本レセプトからのOMOPに費用を含める方法

背景:

日本のレセプトは診療点数(費用)が一对一の関係にあるだけではない。

提案:

- コストテーブル(Standardized health economics)を作成しそこにコストを集約する。
- プロシージャやドラッグや機材等、一对一結び付いている点数についてはそれぞれレコードを作成しcost_event_idで結びつける。
- 合計点数レコードを作成し別途レセプトIDで紐づける。



コストテーブル

Standardized Health Economics Data Tables

- PAYER_PLAN_PERIOD
- **COST**

COSTテーブルは、V6とV5で結構異なる。

(V6.0)

<https://github.com/OHDSI/CommonDataModel/wiki/COST>

(V5.3.1)

<https://github.com/OHDSI/CommonDataModel/tree/v5.3.1>
にあるPDF



Book of OHDSI翻訳

■ 分担表の再確認

Chapter Title	Member
1. The OHDSI Community	@rinabouk
2. Where To Begin	@rinabouk : できた
3. Open Science	@tkohro : できた
4. The Common Data model	@kandalva
5. Standardized Vocabularies	@kandalva : できた
6. <u>Extract Transform Load</u>	平松
7. Data Analytics Use Cases	@keiko-ota
8. OHDSI Analytics Tools	@keiko-ota
9-13. <u>SQL,R,Atlas関連</u>	9:岡田先生、10-13:
14. Evidence Quality	@hataatsuko
15. Data Quality	@hataatsuko
16-18. <u>Validity関連</u>	(森谷さん@ヤンセン)
19. Study Steps	@uenosatoshi
20. OHDSI Network Research	@uenosatoshi
<u>Appendix A-E</u>	



Book of OHDSI翻訳

■再検討点？

- 翻訳結果確認のためには、英語版対訳表示が必要なこと
- 第2版対応をどうするか。8月目標と聞いたことがある。

<https://ohdsi.github.io/TheBookOfOhdsi/>

平松提案

- 今の英語版原稿(2020-4-16版)をforkして翻訳をすすめる
- 韓国語版は自動翻訳を使う作業版として用い、結果の日本語を英語版対訳にコピペしたのち、英語と照らし合わせてrefineする。
- 他の人も英語版対訳を見て確認し、訳の統一等を検討する。
- 後日、英語第2版原稿ができたところでそれを再forkし、すでにある日本語訳をコピペして、差異を確認修正する。
- 第2版までは、仮訳としてWEB公開する。

⇒議論の結果

- 最新の英語版原稿をもとにして、今後進めなおす。(新しいリポジトリ)
- 下訳は韓国語から英語からどちらでも良いので、翻訳結果を新しいリポジトリに入れる。
- 今までの日本語訳はひとまずそのままコピーするので、必要に合わせて各章の担当者が修正する。
- 対訳表示は、自動比較しての表示なのでどの組み合わせでもできる。